

(5) 啓発活動

ア 「あいさいっ子相談室」の周知

- ・「あいさいっ子相談室」カードの作成、配布。

【配布方法】

妊娠届出時、妊婦等に配布。施設巡回事業にて配布。

子育て支援課及び各施設（子育て支援センター、児童館）窓口に設置。

- ・民生児童委員協議会定例会にて「あいさいっ子相談室」についてチラシを配布周知。
- ・広報あいさい8月号「あいさいっ子相談室」について掲載。
- ・愛西市小中学校教頭会にて「あいさいっ子相談室」について周知。

イ 子育て情報発信

- ・愛西市子育てアプリ「あいさいっ子応援ナビ」

登録者人数：1, 433名（令和4年3月末現在）

- ・広報あいさい 子育てコラム～ほ・ほ・ほ～掲載

5月号

子どもを育てることばがけ Part 1（*）“叱り方のコツ”

1年以上続くコロナ禍の今、人との接触が制限され、声をかけられることやコミュニケーションをとることが難しくなり、子どもたちへの影響は計り知れません。

家族で過ごすことの多い中、「子どもを伸ばしたい」と思って言っている親のことばが、子どもの自信と自主性を奪う原因になるかもしれないと思ったら悲しいですね。



◇子どもを叱る場合の工夫◇

(1) 「ダメ」「違う」はなるべく使わない。

否定的なことばだと話を聞いてくれません。

「〇〇がしたかったんだね」という言葉がけから始めましょう。

(2) プロセスに目を向ける。

性格・能力を否定してはいけません。

過程や方法に注目して「次はどうやったらいいと思う？」と客観的に言葉がけしてみましよう。

(3) なぜやっていけないのか、理由を説明する。

言わなくてもわかるだろうと説明しないと大切なことが伝わらないまま大きくなってしまいます。繰り返し理由を伝えましょう。

(4) 親の気持ちを「アイメッセージ」で伝える。

「私」を主語にして伝える方法を「アイメッセージ」と言います。「〇〇しなさい」ではなく「私（親）はこうしてくれると嬉しい」のように話してみましよう。

*子どもを育てることばがけ Part 2 “ほめ方のコツ” は広報あいさい7月号に掲載します。

7月号

子どもを育てることばがけ Part 2 “ほめ方のコツ”

5月に3度目の緊急事態宣言が発出され、コロナ禍は収束せず、お家で過ごす時間や家族間のコミュニケーションが増えた反面、親が子を叱る回数は増加しているようです。ほめ方を工夫して、お子さんがのびのびと育つといいですね。

ほめる時は、具体的な言葉をプラス（+）することで何をほめられたかが明確になります。



◇子どもをほめる場合の工夫◇

(例1) 友達にやさしくできた時

優しいね

+ 友達が元気になるように笑わせてあげたんだね

(例2) 発表会などでうまくいった時

すごくよかったよ

+ 毎日練習していたもんね。

+ 〇〇のところがダイナミックで引き込まれたよ

(例3) テストの点数がよかった時

頭がいいね

+ 毎日の頑張りの積み重ねの結果だね

※ プロセス（努力・過程・試行錯誤したこと）を具体的にほめましよう。

※ 表面的なほめ方で終わらず何がよかったかを付け加えることで「次はこうしてみよう」と思う気持ちが育ちます。（自分で考える力の育ち）

*子どもを育てることばがけ Part 1 “叱り方のコツ” は広報あいさい5月号に掲載しました。